

順心病院だより

2014
12
vol.19

きずな

<http://www.junshin.or.jp/>

順心病院の理念

「地域医療のために全力をつくす」

広報紙『きずな』へのご希望・ご意見を
<http://www.junshin.or.jp/>または
F a xでお寄せ下さい。

安心と信頼
の医療

病院の
基本方針

救急医療と
地域連携の充実

明るく元気な職場



「サンデー毎日 平成26年10月26日号」
「後悔しない病院選び（脳梗塞）で治療実績ランキング1位の病院として取材記事が掲載されました。」

院内研修会特集

— 質の向上に向けて頑張っています —

脳卒中を極めよう



看護4課 師長
安川 明子



2014年11月5日(水)、「脳卒中を極めよう！」と題し、病院全職員を対象に脳卒中の勉強会を開催しました。講師は潤井院長にお願いし、今回は脳出血とくも膜下出血の病態、疫学、画像、そして治療についての講義を受けました。67名の職員の参加が得られ、それぞれの職種の視点で学びを得て、参加者のほとんどが理解しやすかったと感想を述べていました。

また潤井院長の治療に対する思いも垣間見え、楽しく講義を受けることができたと思います。日常的に脳神経外科の患者様に関わっているとつい奥深く掘り下げることなく業務に就いてしまいがちですが、わかっていると思っていたことが意外に曖昧であったりして、なぜ？どうして？を刺激される機会になりました。脳卒中は幅広く、治療も日々進歩しています。次回は脳梗塞を予定していますが、脳腫瘍や画像の見方なども学習できる機会を継続していきたいと考えています。

院内BLS研修



医療安全管理室 室長
外科(呼吸器)部長
八田 健

東播磨、北播磨、淡路地域で、1年間に心肺停止のため救急車で救急搬送されたのは1,100～1,200例で、その内社会復帰(心肺停止前の状態に回復)したのは20～30例である。社会復帰する症例のほとんどが、倒れた時に近くにいた人がすぐに胸骨圧迫を行い、取り寄せたAEDを使用して、心拍再開した症例である。

心臓突然死の多くは、VF(心室細動)、VT(心室頻拍)である。そのため、すぐに胸骨圧迫を行い脳への血流を保ち、心停止より5分以内に自動体外式除細動器(AED)を使用すれば、戻る可能性が高い。1分遅れる毎に救命率は10%づつ落ちるので、除細動が必要か否かを判断し、迅速、安全、確実に除細動を行うことが重要である。さらに重要なことは除細動後、2分間は胸骨圧迫を

続け、その後に心拍再開したかを確認することである。

院内BLS研修は①反応のない人に対する初動の対応方法、②胸骨圧迫の仕方、③AEDの操作方法を習得することである。これは院内だけではなく、院外でも広く使える。医療従事者がたまたま院外で倒れた人を見つけ、すぐに胸骨圧迫を行い、AEDを使用して心拍再開した症例は多く報告されている。当院の職員全員が院内だけでなく、院外でも突然の心停止に遭遇した時には、反射的に胸骨圧迫を行い、AEDを使用できるように研修を進めていきたいと考えている。



ICT講座 (ICT : Infection Control Team)

病院の感染対策は時代とともに実に目まぐるしく変わっています。「数年前まではこの方法が正しいと教えられたのに」「いったい今はどうするのが正解なの?」、このような疑問が解消されないまま、また方法が変わり物品が変わることの繰り返しに、感染対策を苦手と感じる現場スタッフは少なくありません。ところが、現在は感染対策の如何で病院の真価が問われる時代でもあり、安全な医療を提供するには医療者として決して欠くことのできない対策とされています。

そこで、今春からICTが本格稼働を始めたことを機に、病院の感染対策に関する基本的な知識や

最新の方法などを提供する目的でICT講座を開催しています。本講座は、ICTメンバーをはじめ、感染対策初心者でも職種を問わず参加できるように内容を工夫しています。今年度は12回シリーズ(1回/月)を計画しており、現在は6回目を迎え徐々に皆に認知される所となり、毎講座30～60名の参加者を得ています。

病院を感染から守るには、そこで働く全スタッフが一丸となって取り組まなければ完全ではありません。共に知識を得る場、現場を見直す場、コミュニケーションを持つ場として有意義な講座になることを目指しています。

院内研究発表会

開催日時：平成26年11月15日(土) 12:50~15:25

会場：順心病院 第1会議室

セッションⅠ

- I-1 超急性期に対するIVRによる
機械的血栓回収療法の進歩
- I-2 脳卒中患者に対して
早期よりBWSTTの介入を検討
- I-3 NIHSS評価方法の統一を目指して
- I-4 イグザレルト(r)錠服用開始時の
血液凝固能モニタリング結果の活用
- I-5 安全なMR検査実現の為の
インシデント分析

セッションⅡ

- II-1 「ウソ!?ホント!?
加齢で体は硬くなる??? 大検証!!」

- II-2 ソフト形態食の取り組みについて
- II-3 とろみ茶の粘度統一に向けての取り組み
- II-4 ドレナージにおける観察基準の作成
~スケール表を用いて

セッションⅢ

- III-1 稀血(まれけつ)に遭遇して
~採血のタイミングの重要性について~
- III-2 トイレ表の導入
~トイレ動作介助量軽減に向けて~
- III-3 順心病院流! 外来クラークのありがた
~入院時指示用紙を作成して~
- III-4 看護の質の向上を目指した取り組み
- III-5 当院におけるイレウス症例の検討

今回の発表は、全14題の発表になりました。
院内で選考された研究は、来年1月30日(土)
淡路夢舞台国際会議場で開催予定の順心会・のじ
ぎく福祉会研究交流会で発表されます。



「開会宣言」 副院長 弁野 由起子

院長の総評

本日は、院内の学術発表でしたが、これからは外に向けた発信につながるように、また病院としてもメディアにも多く取り上げられ注目をされるようになっていきますので、職員一人一人がこれからも仕事の内容にもその自覚を持って取り組んでいってほしいと思います。

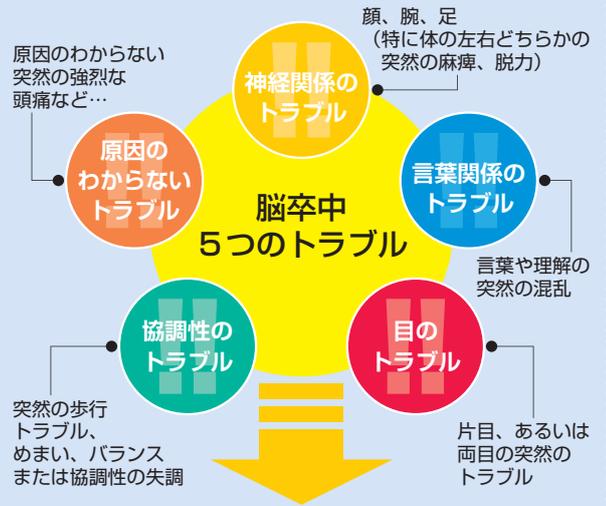


セッションⅠ 医局 脳神経外科 井上 悟志



最優秀賞
「ウソ!?ホント!? 加齢で体は硬くなる??? 大検証!!」
事務部 保育課 鎌谷 早紀

脳卒中の警告サイン

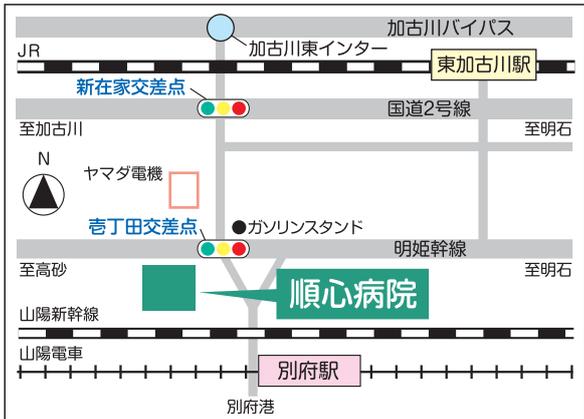


これらの症状が出たら3時間が勝負です
すぐに順心病院へ
 順心病院は24時間対応で
 「脳卒中のセンター化」を目指しています



サイバーナイフとは「放射線治療ロボット」のことです。治療台に寝ているだけで、あとはロボットが自動的に放射線照射を行っていきます。実際にメスを使って体を傷つけるのではなく、患部に放射線を正確に照射し、まるでメスで切り取ったように病変をとるもので、痛くも熱くもなく、麻酔の必要ありません。対象疾患は、主に脳腫瘍で、腫瘍の大きさによって異なりますが、1回の治療時間は治療室に入ってから終了するまで20~30分です。

現在阪神間で設置されている病院は、大阪で2か所、兵庫で1か所です。順心病院のサイバーナイフは兵庫県で2か所目になります。竣工は来年秋の予定です。



順心病院診療時間

平成26年8月1日現在

午前9:00~12:00、午後16:00~19:00
(土曜午後・日曜・祝日除く)

受付は開始30分前から終了30分前まで

午前 (診療9時~12時)

	月	火	水	木	金	土
脳神経外科	●	●	●	●	●	●
内科	●	●	●	●	●	●
外科	●	●	●	●	●	●
循環器内科						●
大腸肛門外科	●					●
呼吸器科				●		●
耳鼻咽喉科		●		●		●
皮膚科		●				

午後 (診療16時~19時)

	月	火	水	木	金	土
脳神経外科	●	●	●	●	●	
内科		●				
外科	●	●	●	●	●	
循環器内科			●			
呼吸器科	●					
整形外科	●		●	●		

※担当医師により診療時間の変更や休診の場合もありますので、あらかじめお電話でご確認ください。

(脳神経外科は随時24時間対応)

看護師・看護補助募集

救急医療と一緒に頑張っていただけ
看護師・看護補助を募集しています。

<http://www.junshin-recruit.jp>

☎079-437-3555

順心病院への交通のご案内

交通機関ご利用の方

- 山陽電鉄別府駅下車、北へ500m
- JR東加古川駅下車、タクシーで約15分
東加古川駅前より播磨町行きバスにて壱丁田バス停下車、南へ100m
※バスの便が少ないのでタクシーをお勧めします

車をご利用の方

- 加古川バイパス加古川東インターを降り南(別府港方面)へ2km
壱丁田交差点を右折し西へ100m
- 明姫幹線壱丁田交差点を西へ100m